

「バリアフリー教室」(万代シティバスまつり2018)

名称： バリアフリー教室（万代シティバスまつり2018 ブース設置）
日時： 平成30年9月23日（日） 10:00~16:00
場所： 万代シティ通り・ガルベストーン通り（新潟県新潟市中央区）
主催： 新潟交通株式会社
共催： 公益社団法人新潟県バス協会・万代シティ商店街振興組合
協力： 北陸信越運輸局、新潟市、新潟市水族館マリニピア日本海、東北電力株式会社、越後交通株式会社、頸城自動車株式会社、アイ・ケーアライアンス株式会社（泉観光バス株式会社グループ）

参加者： まつり訪問の一般の方々 約120名（体験者は約85名）（まつり来訪者約13,000名：主催者情報）

目的：高齢者、障害者等が安心して日常生活を送れるためにはハード面だけでなく、一人ひとりの心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」を理解してもらうため、『バリアフリー体験コーナー』を設置。当コーナーでは、『高齢者疑似体験』及び『車イスでのバス乗降体験』ができ、『高齢者疑似体験』は白内障や足腰の衰えを特殊ゴーグルや特殊サポーターの装着により疑似体験ができるもの、『車イスでのバス乗降体験』は実際に車イスに乗ってノンステップバスの乗降等が体験できるものとした。

体験者の声

『お客様の安全を考えた上で、丁寧に移動させていてとても良かった』

『ボタンの位置や運転手さんのランプが別のものというのを知れました』

『車イスに乗りながらバスに乗るという経験はあまりできないので面白かった』

『車イス装備のあるバスを多くしてもらいたい』

『本職がヘルパーなのでどのようなものか体験してみました。予想以上にきついことが分かりました。この経験を踏まえて介助にあたりたいと思います。』

『高齢者に対してゆっくり動くように勧めようと思いました』

『お年寄りの気持ちがとても分かった。困っている人を見かけたら手助けしようと思った。』

